

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B1)

(11)特許番号
特許第7009576号
(P7009576)

(45)発行日 令和4年1月25日(2022.1.25)

(24)登録日 令和4年1月14日(2022.1.14)

(51)国際特許分類

F I

G 0 6 Q 30/06 (2012.01)

G 0 6 Q 30/06

G 0 6 Q 20/06 (2012.01)

G 0 6 Q 20/06 3 0 0

G 0 6 Q 50/00 (2012.01)

G 0 6 Q 50/00 3 0 0

請求項の数 14 (全25頁)

(21)出願番号 特願2020-146863(P2020-146863)
(22)出願日 令和2年9月1日(2020.9.1)
審査請求日 令和2年9月28日(2020.9.28)
早期審査対象出願(73)特許権者 519110124
P a y P a y 株式会社
東京都千代田区紀尾井町1番3号
(74)代理人 110002147
特許業務法人酒井国際特許事務所
(72)発明者 キロス ジョンレイ
東京都千代田区紀尾井町1番3号 P a
y P a y 株式会社内
(72)発明者 タンヴィ カラン
東京都千代田区紀尾井町1番3号 P a
y P a y 株式会社内
(72)発明者 パンディ シュレイ
東京都千代田区紀尾井町1番3号 P a
y P a y 株式会社内
(72)発明者 ベインハップ ステファン
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 提供装置、提供方法及び提供プログラム

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の店舗で利用された場合に、利用者の口座から当該所定の店舗の口座へと決済額に応じた金額を移行させる所定の決済手段を提供する所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける受付部と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツの提供に応じた金額を、前記所定の決済手段において前記利用者が保有する第1の口座から、当該第1の口座とは異なる口座であって、前記所定の決済手段における口座である第2の口座に移行させる処理を実行する第1処理部と、

前記第1処理部による処理が実行された場合は、前記利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応し、前記利用者を示す動画像であるコンテンツであって、前記利用者により投稿されるコンテンツである第1コンテンツを当該提供者に提供する第1提供部と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、前記第1コンテンツに対し当該提供者により入力された情報を付加したコンテンツである第2コンテンツを前記利用者に提供する第2提供部と

を有することを特徴とする提供装置。

【請求項2】

所定の店舗で利用された場合に、利用者の口座から当該所定の店舗の口座へと決済額に応

じた金額を移行させる所定の決済手段を提供する所定のプラットフォームを介して起動するSNS（Social Networking Service）に関するアプリケーションであって、利用者が入力した検索クエリに対応するコンテンツを提供するアプリケーションを介してコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける受付部と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツの提供に応じた金額を、前記所定の決済手段において前記利用者が保有する第1の口座から、当該第1の口座とは異なる口座であって、前記所定の決済手段における口座である第2の口座に移行させる処理を実行する第1処理部と、

前記第1処理部による処理が実行された場合は、前記利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応するコンテンツであって、前記利用者により投稿されるコンテンツである第1コンテンツを当該提供者に提供する第1提供部と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、前記第1コンテンツに関する内容のコンテンツである第2コンテンツを前記利用者に提供する第2提供部とを有することを特徴とする提供装置。

【請求項3】

前記第2提供部は、

前記利用者により選択された提供者により入力されたテキスト情報、当該提供者により入力された図形、当該提供者の音声、並びに、当該提供者の動画像の少なくともいずれかを含む前記第2コンテンツを提供する

ことを特徴とする請求項1または2に記載の提供装置。

【請求項4】

前記複数の提供者が、利用者から投稿されるコンテンツを受け付けている状況を示す情報を前記利用者に配信する配信部

をさらに有することを特徴とする請求項1から3のうちいずれか1つに記載の提供装置。

【請求項5】

前記第1提供部は、

前記第2コンテンツの提供に応じて前記利用者により選択された提供者に支払われる金額に基づく前記利用者の優先度に基づいて、前記第1コンテンツを前記利用者により選択された提供者に提供する

ことを特徴とする請求項1から4のうちいずれか1つに記載の提供装置。

【請求項6】

前記第1処理部は、

前記利用者により選択された提供者に関する情報に基づく金額を、前記第1の口座から前記第2の口座に移行させる処理を実行する

ことを特徴とする請求項1から5のうちいずれか1つに記載の提供装置。

【請求項7】

前記第1処理部は、

前記利用者により選択された提供者により設定された金額を、前記第1の口座から前記第2の口座に移行させる処理を実行する

ことを特徴とする請求項1から6のうちいずれか1つに記載の提供装置。

【請求項8】

前記第1処理部は、

前記第2コンテンツの提供に応じた金額を、前記第1の口座から前記所定のプラットフォームの管理者が保有する口座に移行させる処理を実行する

ことを特徴とする請求項1から7のうちいずれか1つに記載の提供装置。

【請求項9】

前記第1処理部は、

前記第2コンテンツの提供に応じた金額を、前記第1の口座から、前記利用者が保有する口座であって、前記利用者が取引に利用できない口座に移行させる処理を実行する

ことを特徴とする請求項 1 から 7 のうちいずれか 1 つに記載の提供装置。

【請求項 10】

前記第 2 コンテンツが前記利用者に提供された場合は、前記第 2 コンテンツの提供に応じた金額を、前記第 2 の口座から、前記利用者に選択された提供者が保有する口座に移行させる処理を実行する第 2 処理部

をさらに有することを特徴とする請求項 1 から 9 のうちいずれか 1 つに記載の提供装置。

【請求項 11】

コンピュータが実行する提供方法であって、

所定の店舗で利用された場合に、利用者の口座から当該所定の店舗の口座へと決済額に応じた金額を移行させる所定の決済手段を提供する所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける受付工程と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツの提供に応じた金額を、前記所定の決済手段において前記利用者が保有する第 1 の口座から、当該第 1 の口座とは異なる口座であって、前記所定の決済手段における口座である第 2 の口座に移行させる処理を実行する第 1 処理工程と、

前記第 1 処理工程による処理が実行された場合は、前記利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応し、前記利用者を示す動画像であるコンテンツであって、前記利用者により投稿されるコンテンツである第 1 コンテンツを当該提供者に提供する第 1 提供工程と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、前記第 1 コンテンツに対し当該提供者により入力された情報を付加したコンテンツである第 2 コンテンツを前記利用者に提供する第 2 提供工程と

を含むことを特徴とする提供方法。

【請求項 12】

所定の店舗で利用された場合に、利用者の口座から当該所定の店舗の口座へと決済額に応じた金額を移行させる所定の決済手段を提供する所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける受付手順と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツの提供に応じた金額を、前記所定の決済手段において前記利用者が保有する第 1 の口座から、当該第 1 の口座とは異なる口座であって、前記所定の決済手段における口座である第 2 の口座に移行させる処理を実行する第 1 処理手順と、

前記第 1 処理手順による処理が実行された場合は、前記利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応し、前記利用者を示す動画像であるコンテンツであって、前記利用者により投稿されるコンテンツである第 1 コンテンツを当該提供者に提供する第 1 提供手順と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、前記第 1 コンテンツに対し当該提供者により入力された情報を付加したコンテンツである第 2 コンテンツを前記利用者に提供する第 2 提供手順と

をコンピュータに実行させることを特徴とする提供プログラム。

【請求項 13】

コンピュータが実行する提供方法であって、

所定の店舗で利用された場合に、利用者の口座から当該所定の店舗の口座へと決済額に応じた金額を移行させる所定の決済手段を提供する所定のプラットフォームを介して起動する SNS (Social Networking Service) に関するアプリケーションであって、利用者が入力した検索クエリに対応するコンテンツを提供するアプリケーションを介してコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける受付工程と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツの提供に応じた金額を、

10

20

30

40

50

前記所定の決済手段において前記利用者が保有する第1の口座から、当該第1の口座とは異なる口座であって、前記所定の決済手段における口座である第2の口座に移行させる処理を実行する第1処理工程と、

前記第1処理工程による処理が実行された場合は、前記利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応するコンテンツであって、前記利用者により投稿されるコンテンツである第1コンテンツを当該提供者に提供する第1提供工程と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、前記第1コンテンツに関する内容のコンテンツである第2コンテンツを前記利用者に提供する第2提供工程とを含むことを特徴とする提供方法。

【請求項14】

所定の店舗で利用された場合に、利用者の口座から当該所定の店舗の口座へと決済額に応じた金額を移行させる所定の決済手段を提供する所定のプラットフォームを介して起動するSNS（Social Networking Service）に関するアプリケーションであって、利用者が入力した検索クエリに対応するコンテンツを提供するアプリケーションを介してコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける受付手順と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツの提供に応じた金額を、前記所定の決済手段において前記利用者が保有する第1の口座から、当該第1の口座とは異なる口座であって、前記所定の決済手段における口座である第2の口座に移行させる処理を実行する第1処理手順と、

前記第1処理手順による処理が実行された場合は、前記利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応するコンテンツであって、前記利用者により投稿されるコンテンツである第1コンテンツを当該提供者に提供する第1提供手順と、

前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、前記第1コンテンツに関する内容のコンテンツである第2コンテンツを前記利用者に提供する第2提供手順とをコンピュータに実行させることを特徴とする提供プログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、提供装置、提供方法及び提供プログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、ネットワーク上で配信されるコンテンツに対し、コンテンツの視聴者やコンテンツの提供者の応答を反映させるための技術が提案されている。このような技術の一例として、ユーザ端末に入力されたコメントであって、ライブコンテンツに連動して表示されるコメントを、コメントに対するユーザからの入札額によって表示制御する技術が提案されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【文献】特開2020-17251号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、上記の従来技術では、視聴者と提供者とのコミュニケーションを促進しているとは言えない場合がある。

【0005】

例えば、上記の従来技術では、入札額が多いコメントを優先的に提供しているにすぎず、視聴者と提供者との間でのコミュニケーションを図っているとは言えない。

【0006】

10

20

30

40

50

本願は、上記に鑑みてなされたものであって、視聴者と提供者とのコミュニケーションを促進することができる提供装置、提供方法及び提供プログラムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本願に係る提供装置は、所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける受付部と、前記利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応するコンテンツであって、前記利用者により投稿されるコンテンツである第1コンテンツを当該提供者に提供する第1提供部と、前記利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、前記第1コンテンツに関する内容のコンテンツである第2コンテンツを前記利用者により提供する第2提供部とを有することを特徴とする。

10

【発明の効果】

【0008】

実施形態の一態様によれば、視聴者と提供者とのコミュニケーションを促進することができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】図1は、実施形態に係る提供処理の一例を示す図である。

【図2】図2は、実施形態に係る利用者端末の画面の一例を示す図である。

20

【図3】図3は、実施形態に係る提供者端末の画面の一例を示す図である。

【図4】図4は、実施形態に係る決済サーバの構成例を示す図である。

【図5】図5は、実施形態に係る口座データベースの一例を示す図である。

【図6】図6は、実施形態に係る提供者情報データベースの一例を示す図である。

【図7】図7は、実施形態に係る利用者情報データベースの一例を示す図である。

【図8】図8は、実施形態に係る提供処理の手順の一例を示すフローチャートである。

【図9】図9は、決済サーバの機能を実現するコンピュータの一例を示すハードウェア構成図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

30

以下に本願に係る提供装置、提供方法及び提供プログラムを実施するための形態（以下、「実施形態」と呼ぶ）について図面を参照しつつ詳細に説明する。なお、この実施形態により本願に係る提供装置、提供方法及び提供プログラムが限定されるものではない。また、以下の各実施形態において同一の部位には同一の符号を付し、重複する説明は省略される。

【0011】

〔1. 実施形態〕

図1を用いて、本実施形態の提供装置等により実現される提供処理について説明する。図1は、実施形態に係る提供処理の一例を示す図である。なお、図1では、本実施形態に係る提供装置の一例である決済サーバ10によって、実施形態に係る提供処理などが実現されるものとする。

40

【0012】

図1に示すように、実施形態に係る提供処理システム1は、決済サーバ10と、利用者端末100と、提供者端末200とを含む。決済サーバ10、利用者端末100及び提供者端末200は、ネットワークN（例えば、図4参照）を介して有線または無線により相互に通信可能に接続される。ネットワークNは、例えば、インターネットなどのWAN（Wide Area Network）である。なお、図1に示した提供処理システム1には、複数台の決済サーバ10、複数台の利用者端末100及び複数台の提供者端末200が含まれていてもよい。

【0013】

50

図1に示す決済サーバ10は、実施形態に係る提供処理を実行する情報処理装置であり、サーバ装置やクラウドシステム等により実現される。例えば、決済サーバ10は、利用者端末100や提供者端末200を用いる電子決済に関する電子決済サービスを提供する。例えば、決済サーバ10は、取引対象の提供者（事業者）や取引対象が提供される利用者の口座を管理しており、利用者からの決済要求に従って、口座間において電子マネーの移行等を行うことで、各種決済を実現する。なお、電子マネーとは、例えば、各種企業が独自に用いるポイントや通貨等であってもよく、日本円やドル等の国家により提供される貨幣を電子的に取引可能としたものであってもよい。

【0014】

また、決済サーバ10は、各種SNS（Social Networking Service）に関するサービスを提供する。例えば、決済サーバ10は、利用者端末100や提供者端末200から、ブログや、マイクロブログ、ウェブページ、メッセージ、画像（静止画像、動画像）、音声などといった各種コンテンツの投稿を受け付けると、受け付けたコンテンツを公開することで、SNSの利用者の間で情報を共有させる。

【0015】

図1に示す利用者端末100は、利用者によって利用される情報処理装置である。利用者端末100は、例えば、スマートフォンや、タブレット型端末、ノート型PC（Personal Computer）、デスクトップPC、携帯電話機、PDA（Personal Digital Assistant）等により実現される。また、利用者端末100は、決済サーバ10によって配信される情報を、ウェブブラウザやアプリケーションにより表示する。なお、図1に示す例では、利用者端末100がスマートフォンである場合を示す。

【0016】

図1に示す提供者端末200は、フィットネスや、スポーツ、芸能、学術的な知識（例えば、語学等）、資格取得のため知識などといった何らかの技術や知識を利用者に指導（提供）することで報酬を得ることを希望する提供者（例えば、インストラクター、講師）によって利用される情報処理装置である。提供者端末200は、例えば、スマートフォンや、タブレット型端末、ノート型PC、デスクトップPC、携帯電話機、PDA等により実現される。また、提供者端末200は、決済サーバ10によって配信される情報を、ウェブブラウザやアプリケーションにより表示する。なお、図1に示す例では、提供者端末200がスマートフォンである場合を示す。

【0017】

なお、利用者端末100及び提供者端末200は、所定の提供処理を実現する制御情報を決済サーバ10から受け取った場合には、制御情報に従って情報処理を実現する。ここで、制御情報は、例えば、JavaScript（登録商標）等のスクリプト言語やCSS（Cascading Style Sheets）等のスタイルシート言語、Java（登録商標）等のプログラミング言語、HTML（HyperText Markup Language）等のマークアップ言語等により記述される。なお、決済サーバ10から配信される所定のアプリケーションそのものを制御情報とみなしてもよい。

【0018】

〔1-1. 利用者端末100や提供者端末200を用いた決済について〕

ここで、決済サーバ10が実行する提供処理に先立ち、利用者端末100や提供者端末200を用いた決済（電子決済）の一例について説明する。なお、以下の説明では、店舗に配置された2次元コード（QRコード（登録商標））であって、店舗を識別する店舗識別情報を示す2次元コードを用いて、利用者U1が利用者端末100を用いた決済を行う例について説明するが、実施形態は、これに限定されるものではない。以下に説明する決済の一例は、任意の利用者が任意の利用者端末100を用いて、任意の店舗にて決済を行う場合においても適用可能である。また、店舗識別情報は、QRコード（登録商標）のみならず、バーコードや所定のマーク、番号等であってもよい。

【0019】

例えば、利用者U1が店舗にて各種の商品やサービスといった決済対象（取引対象）の利

10

20

30

40

50

用や購入に伴う決済を行う場合、利用者U1は、利用者端末100に予めインストールされた決済アプリを起動する。そして、利用者U1は、決済アプリを介して、店舗に設置された店舗識別情報を撮影する。このような場合、利用者端末100は、決済対象の価格を入力するための画面を表示し、利用者U1或いは店舗の店員から決済金額の入力を受け付ける。そして、利用者端末100は、利用者U1を識別する利用者識別情報と、店舗識別情報（若しくは、店舗識別情報が示す情報、すなわち、店舗を示す情報（例えば、店舗ID））と、決済金額とを示す決済情報を決済サーバ10へと送信する。

【0020】

このような場合、決済サーバ10は、利用者識別情報が示す利用者U1の口座から、店舗識別情報が示す店舗の口座へと、決済金額が示す額の電子マネーを移行させる。そして、決済サーバ10は、決済が完了した旨の通知を利用者端末100へと送信する。このような場合、利用者端末100は、決済が完了した旨の画面や所定の音声を出力することで、電子マネーによる決済が行われた旨を通知する。

【0021】

なお、利用者端末100を用いた決済は、上述した処理に限定されるものではない。例えば、利用者端末100を用いた決済は、店舗に設置された店舗端末を用いたものであってもよい。例えば、利用者端末100は、利用者U1を識別するための利用者識別情報を画面上に表示させる。このような場合、店舗に設置された店舗端末は、利用者端末100に表示された利用者識別情報を読み取り、利用者識別情報（若しくは、利用者識別情報が示す情報、すなわち、利用者U1を示す情報（例えば、利用者ID））と、決済金額と、店舗を識別する情報とを示す決済情報を決済サーバ10へと送信する。このような場合、決済サーバ10は、利用者識別情報が示す利用者U1の口座から、店舗の口座へと、決済金額が示す額の電子マネーを移行させ、店舗の店舗端末或いは利用者端末100に対し、決済が完了した旨の画面や所定の音声を出力させることで、決済が行われた旨を通知してもよい。

【0022】

また、利用者端末100を用いた決済は、利用者U1が予め電子マネーをチャージした口座から店舗の口座へと電子マネーを移行させる処理のみならず、例えば、利用者U1が予め登録したクレジットカードを用いた決済であってもよい。このような場合、例えば、利用者端末100は、店舗の口座に対して決済金額が示す額の電子マネーを移行させるとともに、利用者U1のクレジットカードの運用会社に対し、決済金額を請求してもよい。

【0023】

【1-2. 実施形態の概要について】

ここで、従来、ネットワーク上で配信されるコンテンツに対してコンテンツの視聴者やコンテンツの提供者の応答を反映させるための技術として、ユーザ端末に入力されたコメントであって、ライブコンテンツに連動して表示されるコメントを、コメントに対するユーザからの入札額によって表示制御する技術が提案されている。しかしながら、このような技術では、入札額が多いコメントを優先的に提供しているにすぎず、視聴者と提供者との間でのコミュニケーションを図っているとは言えない場合がある。

【0024】

そこで、決済サーバ10は、実施形態に係る提供処理を実行する。以下、図1を用いて、決済サーバ10が実行する提供処理について説明する。なお、以下の説明では、利用者端末100が利用者U1により利用される例を示す。また、以下の説明では、利用者端末100を利用者U1と同一視する場合がある。すなわち、以下では、利用者U1を利用者端末100と読み替えることもできる。

【0025】

また、以下の説明では、提供者端末200を利用する提供者に応じて、提供者端末200を提供者端末200-1~200-N（Nは任意の自然数）として説明する。例えば、提供者端末200-1は、提供者ID「MID#1」により識別される提供者（提供者M1）により使用される提供者端末200である。また、以下の説明では、提供者端末200

ー 1 ～ 2 0 0 - N について特に区別なく説明する場合には、提供者端末 2 0 0 と記載する。また、以下の説明では、提供者端末 2 0 0 を提供者と同一視する場合がある。すなわち、以下では、提供者 M 1 を提供者端末 2 0 0 - 1 と読み替えることもできる。

【 0 0 2 6 】

また、以下の説明において、利用者端末 1 0 0 には、決済サーバ 1 0 が提供する各種 S N S に関するサービスを利用するための利用者向けのアプリケーション（以下、「利用者アプリ」と記載する場合がある）がインストール済みであるものとする。また、以下の説明において、提供者端末 2 0 0 には、決済サーバ 1 0 が提供する各種 S N S に関するサービスを利用するための提供者向けのアプリケーション（以下、「提供者アプリ」と記載する場合がある）がインストール済みであるものとする。

10

【 0 0 2 7 】

まず、提供者は、作成したコンテンツを、提供者アプリを介して決済サーバ 1 0 に投稿（送信）する（ステップ S 1）。例えば、ヨガのインストラクターである提供者 M 1 は、自身のプロフィールに関するプロフィール情報や、利用者への指導（フィードバック）に応じて利用者に請求する料金の設定に関する料金情報、自身がヨガをしている動画像（ヨガのレッスン動画）などのコンテンツを決済サーバ 1 0 に投稿する。

【 0 0 2 8 】

続いて、決済サーバ 1 0 は、提供者から投稿されたコンテンツを利用者端末 1 0 0 に配信する（ステップ S 2）。例えば、決済サーバ 1 0 は、利用者 U 1 が利用者アプリを起動して入力した検索クエリ等に対応するコンテンツを配信する。なお、図 1 の例では、決済サーバ 1 0 が、ヨガのレッスンを希望する利用者 U 1 に対して提供者 M 1 が投稿した動画像を配信したものとする。

20

【 0 0 2 9 】

続いて、利用者端末 1 0 0 は、決済サーバ 1 0 から配信されたコンテンツを表示する（ステップ S 3）。例えば、利用者端末 1 0 0 は、提供者 M 1 により投稿されたヨガのレッスン動画を再生する。そして、利用者 U 1 は、利用者端末 1 0 0 が再生する動画像を閲覧し、提供者 M 1 を模倣してヨガのポーズをとる。

【 0 0 3 0 】

ここで、図 1 の例において、利用者 U 1 が、自身のヨガのポーズが正しいか否かのフィードバックを提供者 M 1 から得ることを希望したものとする。この場合、利用者 U 1 は、利用者端末 1 0 0 が有する撮像部（カメラ）を用いて、自身がヨガをしている動画像（以下、「第 1 コンテンツ」と記載する場合がある）を撮像する（ステップ S 4）。

30

【 0 0 3 1 】

続いて、決済サーバ 1 0 は、提供者 M 1 に対する決済に関する決済情報と、第 1 コンテンツとを利用者端末 1 0 0 から受け付ける（ステップ S 5）。例えば、決済サーバ 1 0 は、利用者アプリを介して、提供者 M 1 からのフィードバックを得るためにかかる料金の決済に関する決済情報と、第 1 コンテンツとを利用者端末 1 0 0 から受け付ける。具体的な例を挙げると、決済サーバ 1 0 は、決済情報として、利用者 U 1 を識別する利用者識別情報と、提供者 M 1 を識別する識別情報（言い換えると、上述の電子決済サービスにおいて利用者 U 1 及び提供者 M 1 を識別するための情報）と、提供者 M 1 の料金情報に基づく決済金額とを示す情報を受け付ける。

40

【 0 0 3 2 】

ここで、図 2 を用いて、上述した実施形態において利用者アプリにより利用者端末 1 0 0 に表示される画面の例を説明する。図 2 は、実施形態に係る利用者端末の画面の一例を示す図である。

【 0 0 3 3 】

図 2 に示すように、利用者端末 1 0 0 は、利用者アプリにおいて利用者 U 1 に入力された検索クエリに対応する検索結果を示す画面 C 1 1 を表示する。例えば、利用者端末 1 0 0 は、検索クエリを入力するための領域 A R 1 1 と、領域 A R 1 1 に入力された検索クエリ「ヨガ」に対応する動画像、並びに、動画像を投稿した提供者のアイコン及び名称とを表

50

示する領域AR12とを含む画面C11を表示する。画面C11において、動画像の再生ボタンが押下された場合、利用者端末100は、対応する動画像を再生する。また、提供者のアイコンまたは名称に対応する領域が押下された場合、利用者端末100は、画面C11を、押下された領域に対応する提供者の詳細な情報を示す画面C12に遷移させる。

【0034】

利用者端末100は、提供者のプロフィール情報を表示する領域AR13と、第1コンテンツの送信画面への遷移を指示するためのボタンB11と、決済サーバ10が提供するSNSに関するサービスにおいて提供者のフォロワーとなることを指示するためのボタンB12と、提供者が投稿した動画像を表示するための領域AR14とを含む画面C12を表示する。画面C12において、ボタンB11が押下された場合、利用者端末100は、画面C12を、第1コンテンツの送信画面である画面C13に遷移させる。

10

【0035】

利用者端末100は、提供者への決済金額を表示する領域AR15と、決済サーバ10に送信する第1コンテンツを設定（登録）するための領域AR16と、領域AR15及びAR16が示す情報を決済サーバ10に送信するためのボタンB13とを含む画面C13を表示する。例えば、利用者端末100は、提供者が投稿した料金情報に基づく決済金額を領域AR15に表示する。また、利用者U1は、領域AR16に対する選択操作を行い、利用者端末100の記憶部等に記憶された動画像から決済サーバ10に第1コンテンツとして送信するものを選択する。また、ボタンB13が押下された場合、利用者端末100は、領域AR15が示す情報に基づく決済情報と、領域AR16が示す第1コンテンツとを決済サーバ10に送信する。

20

【0036】

図1に戻り、説明を続ける。決済サーバ10は、決済情報が示す決済金額を、利用者の口座から所定の口座へ移行させる（ステップS6）。例えば、決済サーバ10は、利用者U1が電子決済サービスで保有する複数の口座間で電子マネーを移行させる処理であって、上述した利用者端末100を用いた決済に利用する口座から、当該決済に利用できない口座に決済金額分の電子マネーを移行させる処理を実行する。すなわち、決済サーバ10は、決済金額を所定の口座に移行させる処理を実行するものの、当該決済金額はこの時点では利用者U1が保有するものである。

【0037】

なお、決済サーバ10は、決済金額分の電子マネーを、利用者U1が電子決済サービスで保有する口座から、決済サーバ10が提供するSNSの管理者が電子決済サービスで保有する口座へ移行させてもよい。言い換えると、利用者U1は、提供者M1に対する決済金額分の電子マネーを決済サーバ10に与信してもよい。

30

【0038】

続いて、決済サーバ10は、第1コンテンツを提供者端末200-1に提供する（ステップS7）。例えば、決済サーバ10は、第1コンテンツとともに、フィードバックを行うまでの期限を示す情報を提供する。

【0039】

続いて、提供者M1は、第1コンテンツを編集した第2コンテンツを生成する（ステップS8）。例えば、提供者M1は、提供者端末200-1の提供者アプリを起動し、提供者アプリの機能を用いて第1コンテンツの編集を行い、第2コンテンツを生成する。具体的な例を挙げると、提供者M1は、利用者U1のヨガのポーズに対する指摘やアドバイスを示す情報（例えば、テキスト情報や、図形、音声、動画像など）を第1コンテンツに入力し、第2コンテンツを生成する。

40

【0040】

続いて、決済サーバ10は、第2コンテンツを提供者端末200-1から受け付ける（ステップS9）。例えば、決済サーバ10は、提供者アプリを介して第2コンテンツを受け付ける。

【0041】

50

ここで、図3を用いて、上述した実施形態において提供者アプリにより提供者端末200-1に表示される画面の例を説明する。図3は、実施形態に係る提供者端末の画面の一例を示す図である。

【0042】

図3に示すように、提供者端末200-1は、提供者M1からの操作に応じて、提供者M1に提供された第1コンテンツ（言い換えると、利用者からのフィードバックの依頼）の一覧を示す画面C21を表示する。例えば、提供者端末200-1は、利用者の名称と、利用者が送信した第1コンテンツとを表示する領域AR21を含む画面C21を表示する。利用者U1から送信された第1コンテンツが押下された場合、提供者端末200-1は、画面C21を、当該第1コンテンツを編集するための画面C22に遷移させる。

10

【0043】

提供者端末200-1は、第1コンテンツを表示する領域AR22と、第1コンテンツの編集操作に関するボタンB21～B25とを含む画面C22を表示する。例えば、ボタンB21が押下された場合、提供者端末200-1は、第1コンテンツの編集操作を中止し、再び画面C21に遷移させる。また、ボタンB22が押下された場合、提供者端末200-1は、領域AR22に対する提供者M1のタップ操作やスライド操作などに対応する線画を第1コンテンツに描画する。また、ボタンB23が押下された場合、提供者端末200-1は、自装置の音センサ（マイク）を起動し、提供者M1の音声を第1コンテンツに挿入する。また、ボタンB24が押下された場合、提供者端末200-1は、第1コンテンツを再生または停止させる。また、ボタンB25が押下された場合、提供者端末200-1は、第1コンテンツの編集操作を終了し、編集後の第1コンテンツ（すなわち、第2コンテンツ）を決済サーバ10に送信する。

20

【0044】

ここで、提供者M1により編集が行われた後の第1コンテンツの一例として画面C23を示す。例えば、提供者M1は、利用者U1のポーズの修正箇所等を示す線画を第1コンテンツに描画する。

【0045】

図1に戻り、説明を続ける。決済サーバ10は、第2コンテンツを利用者端末100に提供する（ステップS10）。続いて、決済サーバ10は、第2コンテンツの提供に応じた金額を、所定の口座から提供者M1の口座に移行させる（ステップS11）。例えば、ステップS7において提供者M1に提供（通知）した期限までに第2コンテンツを提供者端末200-1から受け付け、利用者端末100に提供した場合、決済サーバ10は、利用者U1からの決済金額分の電子マネーを、提供者M1が電子決済サービスで保有する口座に移行させる。一方、提供者M1に通知した期限までに第2コンテンツが受け付けられず、利用者端末100に提供できなかった場合、決済サーバ10は、決済金額分の電子マネーを、所定の口座から利用者U1が電子決済サービスで保有する口座に移行させる。すなわち、決済サーバ10は、フィードバックの依頼が提供者M1にキャンセルされたとして決済金額を利用者U1に返金する。

30

【0046】

なお、決済サーバ10は、第2コンテンツを閲覧した利用者U1からの評価に応じた金額を所定の口座から提供者M1の口座に移行させてもよい。例えば、利用者U1からの評価が所定の閾値以上である場合、決済サーバ10は、決済金額の全額を提供者M1の口座に移行させる。一方、利用者U1からの評価が所定の閾値以下である場合、決済サーバ10は、決済金額の一部を提供者M1の口座に移行させ、残額を利用者U1の口座に移行させる。

40

【0047】

以上のように、実施形態に係る決済サーバ10は、コンテンツの内容を学習した利用者（視聴者）自身の動画像を、コンテンツの提供者本人への報酬とともに受け付ける。これにより、実施形態に係る決済サーバ10は、動画像へのフィードバックに応じた報酬を提供者に提供できるため、提供者が視聴者とのコミュニケーションを行う動機付けを行うこと

50

ができる。すなわち、実施形態に係る決済サーバ１０は、視聴者と提供者とのコミュニケーションを促進することができる。

【００４８】

〔２．決済サーバの構成〕

次に、図４を用いて、決済サーバ１０の構成について説明する。図４は、実施形態に係る決済サーバの構成例を示す図である。図４に示すように、決済サーバ１０は、通信部２０と、記憶部３０と、制御部４０とを有する。

【００４９】

（通信部２０について）

通信部２０は、例えば、ＮＩＣ（Network Interface Card）等によって実現される。そして、通信部２０は、ネットワークＮと有線または無線で接続され、利用者端末１００や、提供者端末２００等との間で情報の送受信を行う。

【００５０】

（記憶部３０について）

記憶部３０は、例えば、ＲＡＭ（Random Access Memory）、フラッシュメモリ（Flash Memory）等の半導体メモリ素子、または、ハードディスク、光ディスク等の記憶装置によって実現される。図４に示すように、記憶部３０は、口座データベース３１と、提供者情報データベース３２と、利用者情報データベース３３とを有する。

【００５１】

（口座データベース３１について）

口座データベース３１は、利用者や提供者、ＳＮＳの管理者などが電子決済サービスにおいて保有する口座に関する各種の情報を記憶する。ここで、図５を用いて、口座データベース３１が記憶する情報の一例を説明する。図５は、実施形態に係る口座データベースの一例を示す図である。図５の例において、口座データベース３１は、「口座ＩＤ」、「保有者情報」、「口座残高」といった項目を有する。

【００５２】

「口座ＩＤ」は、口座を識別するための識別情報を示す。「保有者情報」は、口座を保有する保有者に関する情報を示し、例えば、保有者を識別するための識別情報が格納される。「口座残高」は、口座の残高を示す。

【００５３】

すなわち、図５では、口座ＩＤ「ＡＩＤ＃１」によって識別される口座の保有者の情報が「利用者＃１」であり、口座残高が「７８００」である例を示す。

【００５４】

（提供者情報データベース３２について）

提供者情報データベース３２は、提供者に関する各種の情報を記憶する。ここで、図６を用いて、提供者情報データベース３２が記憶する情報の一例を説明する。図６は、実施形態に係る提供者情報データベースの一例を示す図である。図６の例において、提供者情報データベース３２は、「提供者ＩＤ」、「提供者名」、「口座ＩＤ」、「プロフィール情報」、「料金情報」、「評価情報」、「投稿コンテンツ」といった項目を有する。

【００５５】

「提供者ＩＤ」は、提供者を識別するための識別情報を示す。「提供者名」は、提供者の名称を示す。「口座ＩＤ」は、提供者が所有する口座を識別するための識別情報を示す。「プロフィール情報」は、提供者のプロフィールに関する情報を示す。利用者へのフィードバックに対して利用者に請求する料金の設定に関する情報を示す。「評価情報」は、提供者が投稿したコンテンツに対する利用者の評価や、提供者からのフィードバックに対する利用者の評価などに関する情報を示す。

【００５６】

「投稿コンテンツ」は、提供者がＳＮＳに投稿したコンテンツに関する情報を示し、例えば、「コンテンツＩＤ」、「動画像」といった項目を有する。「コンテンツＩＤ」は、コンテンツを識別するための識別情報を示す。「動画像」は、提供者が投稿したコンテンツ

10

20

30

40

50

(動画像)を示す。

【0057】

すなわち、図6では、提供者ID「MID#1」によって識別される提供者の名称が「提供者#1」であり、当該提供者が保有する口座が口座ID「AID#2」によって識別され、当該提供者のプロフィール情報が「プロフィール情報#1」、料金情報が「料金情報#1」、評価情報が「評価情報#1」であり、当該提供者が投稿した動画像「動画像#1」がコンテンツID「CID#1」によって識別される例を示す。

【0058】

(利用者情報データベース33について)

利用者情報データベース33は、決済サーバ10が提供するサービスの利用者に関する各種の情報を記憶する。ここで、図7を用いて、利用者情報データベース33が記憶する情報の一例を説明する。図7は、実施形態に係る利用者情報データベースの一例を示す図である。図7の例において、利用者情報データベース33は、「利用者ID」、「決済履歴」、「利用履歴」といった項目を有する。

10

【0059】

「利用者ID」は、利用者を識別するための識別情報を示す。「決済履歴」は、電子決済サービスを利用して行った決済の履歴を示し、例えば、決済先(提供者等)や、決済金額などといった情報が格納される。「利用履歴」は、SNSの利用履歴を示し、例えば、コンテンツの閲覧履歴や、フォローしている提供者を示す情報などが格納される。

【0060】

すなわち、図7では、利用者ID「UID#1」によって識別される利用者の決済履歴が「決済履歴#1」、利用履歴が「利用履歴#1」である例を示す。

20

【0061】

(制御部40について)

制御部40は、コントローラ(controller)であり、例えば、CPU(Central Processing Unit)やMPU(Micro Processing Unit)等によって、決済サーバ10内部の記憶装置に記憶されている各種プログラムがRAMを作業領域として実行されることにより実現される。また、制御部40は、コントローラであり、例えば、ASIC(Application Specific Integrated Circuit)やFPGA(Field Programmable Gate Array)等の集積回路により実現される。実施形態に係る制御部40は、図4に示すように、配信部41と、受付部42と、提供部43と、決済処理部44とを有し、以下に説明する情報処理の機能や作用を実現または実行する。

30

【0062】

(配信部41について)

配信部41は、提供者により投稿されたコンテンツを所定のプラットフォームを介して利用者に提供する。例えば、図1の例において、配信部41は、提供者情報データベース32を参照し、提供者のプロフィール情報や、料金情報、提供者が投稿したコンテンツなどを、SNS(利用者アプリ)を介して利用者U1に提供する。なお、配信部41は、決済アプリ内で起動するアプリケーション(ミニアプリ)である利用者アプリを介して利用者にコンテンツを提供してもよい。

40

【0063】

また、配信部41は、複数の提供者が、利用者から投稿されるコンテンツを受け付けている状況を示す情報を利用者に配信してもよい。例えば、配信部41は、提供者に提供された第1コンテンツの数であって、フィードバック(言い換えると、対応する第2コンテンツの提供)が完了していない第1コンテンツの数や、提供者に現在提供されている第1コンテンツのフィードバックが完了するまでの時間、利用者が第1コンテンツを提供した場合に提供者からフィードバックを得られるまでの待ち時間などといった情報を配信する。なお、配信部41は、提供者により設定された時間や、SNSの管理者等により設定された時間を、フィードバックを得られるまでの待ち時間として配信してもよい。

【0064】

50

(受付部 4 2 について)

受付部 4 2 は、利用者から決済に関する決済情報を受け付ける。例えば、受付部 4 2 は、利用者を識別する利用者識別情報と、決済先を識別する識別情報（例えば、決済アプリを介して撮影された識別情報）と、決済金額とを示す決済情報を利用者端末 1 0 0 から受け付ける。

【 0 0 6 5 】

また、受付部 4 2 は、所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付けてもよい。例えば、図 1 の例において、受付部 4 2 は、提供者 M 1 からのフィードバックを得るためにかかる料金の決済に関する決済情報（提供者 M 1 を識別する識別情報）と、第 1 コンテンツとを利用者端末 1 0 0 から受け付ける。

10

【 0 0 6 6 】

また、受付部 4 2 は、所定の決済手段を提供する所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付けてもよい。例えば、受付部 4 2 は、決済アプリ内で起動するアプリケーションである利用者アプリを介して、提供者の選択を受け付ける。

【 0 0 6 7 】

(提供部 4 3 について)

提供部 4 3 は、利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応するコンテンツであって、利用者により投稿されるコンテンツである第 1 コンテンツを当該提供者に提供する。例えば、図 1 の例において、提供部 4 3 は、利用者 U 1 から受け付けた動画像であって、提供者 M 1 により投稿されたヨガのレッスン動画を視聴して利用者 U 1 が行ったヨガの動画像である第 1 コンテンツと、フィードバックを行うまでの期限を示す情報とを提供者 M 1 に提供する。

20

【 0 0 6 8 】

また、提供部 4 3 は、利用者を選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、第 1 コンテンツに関する内容のコンテンツである第 2 コンテンツを利用者に提供してもよい。例えば、図 1 の例において、提供部 4 3 は、提供者 M 1 が第 1 コンテンツを編集して生成した第 2 コンテンツを利用者端末 1 0 0 に提供する。

【 0 0 6 9 】

また、提供部 4 3 は、第 2 コンテンツとして、第 1 コンテンツと、利用者を選択された提供者により入力された情報とを含むコンテンツを利用者に提供してもよい。例えば、図 1 の例において、提供部 4 3 は、第 2 コンテンツとして、第 1 コンテンツと、提供者 M 1 により入力された情報であって、利用者 U 1 のヨガのポーズに対する指摘やアドバイスを示す情報とを提供する。

30

【 0 0 7 0 】

また、提供部 4 3 は、利用者により選択された提供者により入力されたテキスト情報、当該提供者により入力された図形、当該提供者の音声、並びに、当該提供者の動画像の少なくともいずれかを含む第 2 コンテンツを提供してもよい。例えば、図 1 の例において、提供部 4 3 は、提供者 M 1 により入力されたテキスト情報や、図形、音声、動画像などを含む第 2 コンテンツを提供する。

40

【 0 0 7 1 】

また、提供部 4 3 は、第 1 コンテンツとして、利用者を示す動画像を提供してもよい。例えば、図 1 の例において、提供部 4 3 は、利用者 U 1 がヨガをしている動画像である第 1 コンテンツを提供者 M 1 に提供する。

【 0 0 7 2 】

また、提供部 4 3 は、決済処理部 4 4 による処理が実行された場合は、利用者を選択された提供者に第 1 コンテンツを提供してもよい。例えば、図 1 の例において、提供部 4 3 は、利用者端末 1 0 0 から受け付けられた決済情報が示す決済金額を利用者の口座から所定の口座へ移行させる処理が決済処理部 4 4 により実行された場合に、第 1 コンテンツを提

50

供者端末 200-1 に提供する。

【0073】

ここで、例えば、所定の料金に加えさらに追加料金を支払うことで、利用者からの人気が高い提供者から優先してフィードバックを得たいといった要望が考えられる。したがって、提供部 43 は、第 2 コンテンツの提供に応じて利用者により選択された提供者に支払われる金額に基づく利用者の優先度に基づいて、第 1 コンテンツを利用者により選択された提供者に提供してもよい。例えば、料金情報に基づく料金に加え、所定の追加料金の決済が利用者により行われた場合、提供部 43 は、当該利用者に対するフィードバックが優先的に行われるように、当該利用者により投稿された第 1 コンテンツを提供者に提供する。具体的な例を挙げると、利用者から投稿された順に第 1 コンテンツを提供者に提供する場合、提供部 43 は、追加料金の決済を行った利用者により投稿された第 1 コンテンツを優先的に提供者に提供する。また、提供部 43 は、追加料金の決済を行った利用者にフィードバックを行うまでの期限を通常よりも短く設定し、当該利用者により投稿された第 1 コンテンツを提供者に提供する。

10

【0074】

なお、提供部 43 は、より高い追加料金の決済を行った利用者ほど、より優先的にフィードバックが行われるように第 1 コンテンツを提供者に提供してもよい。すなわち、提供部 43 は、オークション形式で優先度を決定してもよい。

【0075】

(決済処理部 44 について)

20

決済処理部 44 は、受付部 42 が受け付けた決済情報に従い、決済処理を実行する。例えば、決済処理部 44 は、利用者識別情報が示す利用者の口座から、決済先を識別する識別情報が示す決済先の口座へと、決済金額が示す額の電子マネーを移行させる。

【0076】

また、決済処理部 44 は、利用者が保有する口座から所定の口座に所定の金額を移行させる処理を実行する第 1 処理部、並びに、所定の口座から提供者が保有する口座に所定の金額を移行させる処理を実行する第 2 処理部としての機能を有する。なお、実施形態はこのような例に限定されず、例えば、決済処理部 44 は、第 1 処理部や第 2 処理部といった複数の機能構成により実現されてもよい。

【0077】

30

以下、決済処理部 44 の第 1 処理部としての機能を説明する。決済処理部 44 は、第 2 コンテンツの提供に応じた金額を、利用者が保有する第 1 の口座から当該第 1 の口座とは異なる第 2 の口座に移行させる処理を実行する。例えば、図 1 の例において、決済処理部 44 は、口座データベース 31、提供者情報データベース 32 及び利用者情報データベース 33 を参照し、利用者 U1 を識別する利用者識別情報と、提供者 M1 を識別する識別情報と、決済金額とを含む決済情報に基づいて、決済金額を、利用者が保有する口座から所定の口座に移行させる処理を実行する。

【0078】

また、決済処理部 44 は、利用者を選択された提供者に関する情報に基づく金額を、第 1 の口座から第 2 の口座に移行させる処理を実行してもよい。例えば、図 1 の例において、決済処理部 44 は、提供者 M1 の料金情報に基づく決済金額を、利用者が保有する口座から所定の口座に移行させる処理を実行する。

40

【0079】

なお、決済処理部 44 は、提供者の評価情報に基づく決済金額を、利用者が保有する口座から所定の口座に移行させる処理を実行してもよい。例えば、決済処理部 44 は、提供者が提供した第 2 コンテンツに対して投稿された利用者の評価や、投稿したコンテンツの数、投稿したコンテンツが閲覧された回数、フォロワーの数などに基づく決済金額を、利用者が保有する口座から所定の口座に移行させる処理を実行する。

【0080】

また、決済処理部 44 は、利用者を選択された提供者により設定された金額を、第 1 の口

50

座から第2の口座に移行させる処理を実行してもよい。例えば、図1の例において、決済処理部44は、提供者端末200-1が送信した料金情報に基づく決済金額を、利用者が保有する口座から所定の口座に移行させる処理を実行する。

【0081】

また、決済処理部44は、第2コンテンツの提供に応じた金額を、第1の口座から所定のプラットフォームの管理者が保有する口座に移行させる処理を実行してもよい。例えば、図1の例において、決済処理部44は、決済金額分の電子マネーを、利用者U1が電子決済サービスで保有する口座から、決済サーバ10が提供するSNSの管理者が電子決済サービスで保有する口座へ移行させる処理を実行する。

【0082】

また、決済処理部44は、第2コンテンツの提供に応じた金額を、第1の口座から、利用者が保有する口座であって、利用者が取引に利用できない口座に移行させる処理を実行してもよい。例えば、図1の例において、決済処理部44は、利用者U1が電子決済サービスで保有する複数の口座間で電子マネーを移行させる処理であって、利用者端末100を用いた決済に利用する口座から、当該決済に利用できない口座に決済金額分の電子マネーを移行させる処理を実行する。

【0083】

次に、決済処理部44の第2処理部としての機能を説明する。決済処理部44は、第2コンテンツが利用者に提供された場合は、第2コンテンツの提供に応じた金額を、第2の口座から、利用者に選択された提供者が保有する口座に移行させる処理を実行する。例えば、図1の例において、第2コンテンツが利用者U1に提供された場合、決済処理部44は、利用者U1からの決済金額分の電子マネーを、所定の口座から提供者M1が電子決済サービスで保有する口座に移行させる。

【0084】

なお、決済処理部44は、第2コンテンツの提供の態様に応じた処理を実行してもよい。例えば、図1の例において、提供者M1に通知した期限までに第2コンテンツが受け付けられなかった場合、決済処理部44は、決済金額分の電子マネーを、所定の口座から利用者U1が電子決済サービスで保有する口座に移行させる。また、図1の例において、決済処理部44は、第2コンテンツを閲覧した利用者U1からの評価に応じた金額を所定の口座から提供者M1の口座に移行させる処理を実行する。

【0085】

〔3. 提供処理のフロー〕

図8を用いて、実施形態に係る決済サーバ10の提供処理の手順について説明する。図8は、実施形態に係る提供処理の手順の一例を示すフローチャートである。

【0086】

図8に示すように、決済サーバ10は、提供者から投稿されたコンテンツを利用者に配信する（ステップS101）。続いて、決済サーバ10は、提供者の選択と、利用者から投稿される第1コンテンツとを受け付ける（ステップS102）。続いて、決済サーバ10は、選択された提供者に応じた料金を、利用者が保有する口座から所定の口座に移行させる処理を実行する（ステップS103）。続いて、決済サーバ10は、選択された提供者に第1コンテンツを提供する（ステップS104）。続いて、決済サーバ10は、第1コンテンツに対応する第2コンテンツを提供者から受け付けたか否かを判定する（ステップS105）。第2コンテンツを受け付けていない場合（ステップS105；No）、決済サーバ10は、所定の期間が経過したか否かを判定する（ステップS106）。所定の期間が経過していない場合（ステップS106；No）、決済サーバ10は、ステップS105に戻って処理を繰り返す。

【0087】

一方、所定の期間が経過した場合（ステップS106；Yes）、決済サーバ10は、料金を所定の口座から利用者が保有する口座に移行させる処理を実行する（ステップS107）。続いて、決済サーバ10は、第2コンテンツの提供がキャンセルされた旨を利用者

10

20

30

40

50

に通知し（ステップ S 1 0 8）、処理を終了する。

【 0 0 8 8】

ステップ S 1 0 5 において第 2 コンテンツを受け付けたと判定した場合（ステップ S 1 0 5 ; Y e s）、決済サーバ 1 0 は、第 2 コンテンツを利用者に提供する（ステップ S 1 0 9）。続いて、決済サーバ 1 0 は、料金を所定の口座から提供者が保有する口座に移行させる処理を実行し（ステップ S 1 1 0）、処理を終了する。

【 0 0 8 9】

〔 4 . 変形例〕

上述の実施形態は一例を示したものであり、種々の変更及び応用が可能である。

【 0 0 9 0】

〔 4 - 1 . 配信するコンテンツについて〕

上述の実施形態において、配信部 4 1 が、フィットネスや、スポーツ、芸能、学術的な知識、資格取得のため知識などを利用者に指導する提供者により投稿されたコンテンツを配信する例を示したが、コンテンツはこのようなものに限定されない。例えば、配信部 4 1 は、他者に教示可能な内容であれば、どのような内容のコンテンツでも配信してもよい。また、配信部 4 1 は、何らかの資格やライセンスを有する提供者により投稿されたコンテンツに限定されず、一般の利用者により投稿されたコンテンツを配信してもよい。

【 0 0 9 1】

また、配信部 4 1 は、コンテンツをライブ配信してもよい。このようなコンテンツが配信される場合、提供部 4 3 は、リアルタイムに利用者（視聴者）から投稿される第 1 コンテンツを提供者に提供してもよい。

【 0 0 9 2】

また、上述の実施形態において、配信部 4 1 が、決済サーバ 1 0 が提供する SNS に投稿されたコンテンツを配信する例を示したが、配信部 4 1 の機能はこのような例に限定されない。例えば、配信部 4 1 は、他のサービスに提供者が投稿したコンテンツを利用者に配信してもよい。具体的な例を挙げると、配信部 4 1 は、他の SNS や、動画投稿サービスなどに投稿したコンテンツを、API (Application Programming Interface) 等を利用して決済サーバ 1 0 が提供する SNS 上で配信してもよい。

【 0 0 9 3】

〔 4 - 2 . 第 2 コンテンツについて〕

上述の実施形態において、提供部 4 3 が、提供者により入力されたテキスト情報や、図形、音声、動画像などを含む第 2 コンテンツを提供する例を示したが、提供部 4 3 が提供する第 2 コンテンツはこのような例に限定されず、第 1 コンテンツに対して適切なフィードバックを行うことが可能であれば、任意の態様のコンテンツを第 2 コンテンツとして提供してもよい。

【 0 0 9 4】

〔 4 - 3 . フィードバックを得るための料金について〕

上述の実施形態（例えば、図 2 に示す実施形態）において、配信部 4 1 が、フィードバックを 1 回行うごとの料金を利用者に配信し、当該料金に基づき決済処理部 4 4 が所定の処理を実行する例を示したが、配信部 4 1 の機能はこのような例に限定されず、提供者により任意に設定された料金体系（料金プラン）を利用者に配信してもよい。例えば、配信部 4 1 は、第 1 コンテンツの態様や、第 2 コンテンツの提供の態様などに応じて設定された複数の料金プランを利用者に配信してもよい。具体的な例を挙げると、配信部 4 1 は、第 1 コンテンツ（動画像）の再生時間に応じて設定される料金（例えば、再生時間が長いほど高く設定される料金）を利用者に配信する。また、配信部 4 1 は、利用者が第 1 コンテンツを投稿してから第 2 コンテンツが提供されるまでの期限に応じて設定される料金（例えば、期限が短いほど高く設定される料金）を利用者に配信する。また、配信部 4 1 は、第 2 コンテンツの情報量に応じて設定される料金（例えば、提供者により入力されるテキスト量が多いほど高く設定される料金や、提供者により入力される音声或いは動画像の再生時間が長いほど高く設定される料金など）を利用者に配信する。

10

20

30

40

50

【0095】

また、例えば、配信部41は、フィードバックを1回行うごとの料金のみならず、複数回のフィードバックをセットとした場合の料金を配信してもよい。

【0096】

一の提供者に対して上記のような複数の料金プランが配信部41により配信される場合、受付部42は、さらに料金プランの選択を受け付ける。そして、決済処理部44は、選択された料金プランに基づく処理を実行する。

【0097】

なお、提供者は、料金体系に限らず、フィードバックの依頼（第1コンテンツ）を受け付ける態様を任意に設定可能である。例えば、提供者は、所定期間内で受付可能なフィードバックの依頼の件数を設定してもよい。この場合、配信部41は、提供者が受付可能なフィードバックの依頼の件数を示す情報や、現時点でフィードバックの依頼が当該件数を超えているか否かなどといった情報を利用者に配信してもよい。

【0098】

〔4-4. 処理態様について〕

上記実施形態において説明した各処理のうち、自動的に行われるものとして説明した処理の全部または一部を手動的に行うこともでき、逆に、手動的に行われるものとして説明した処理の全部または一部を公知の方法で自動的に行うこともできる。この他、上記文書中や図面中で示した処理手順、具体的名称、各種のデータやパラメータを含む情報については、特記する場合を除いて任意に変更することができる。例えば、各図に示した各種情報は、図示した情報に限られない。

【0099】

また、図示した各装置の各構成要素は機能概念的なものであり、必ずしも物理的に図示の如く構成されることを要しない。すなわち、各装置の分散・統合の具体的形態は図示のものに限られず、その全部または一部を、各種の負荷や使用状況などに応じて、任意の単位で機能的または物理的に分散・統合して構成することができる。

【0100】

また、上記してきた各実施形態は、処理内容を矛盾させない範囲で適宜組み合わせることが可能である。

【0101】

〔5. 効果〕

上述してきたように、実施形態に係る決済サーバ10は、配信部41と、受付部42と、提供部43と、決済処理部44とを有する。配信部41は、提供者により投稿されたコンテンツを所定のプラットフォームを介して利用者に提供する。また、配信部41は、複数の提供者が、利用者から投稿されるコンテンツを受け付けている状況を示す情報を利用者に配信する。受付部42は、利用者から決済に関する決済情報を受け付ける。また、受付部42は、所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける。また、受付部42は、所定の決済手段を提供する所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける。提供部43は、利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応するコンテンツであって、利用者により投稿されるコンテンツである第1コンテンツを当該提供者に提供する。また、提供部43は、利用者を選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、第1コンテンツに関する内容のコンテンツである第2コンテンツを利用者に提供する。決済処理部44は、受付部42が受け付けた決済情報に従い、決済処理を実行する。また、決済処理部44は、第2コンテンツの提供に応じた金額を、利用者が保有する第1の口座から当該第1の口座とは異なる第2の口座に移行させる処理を実行する。また、決済処理部44は、第2コンテンツが利用者に提供された場合は、第2コンテンツの提供に応じた金額を、第2の口座から、利用者を選択された提供者が保有する口座に移行させる処理を実行する。

【0102】

これにより、実施形態に係る決済サーバ10は、動画像へのフィードバックに応じた報酬を提供者に提供することにより、提供者が視聴者とのコミュニケーションを行う動機付けを行うことができたため、視聴者と提供者とのコミュニケーションを促進することができる。

【0103】

また、実施形態に係る決済サーバ10において、例えば、提供部43は、第2コンテンツとして、第1コンテンツと、利用者に選択された提供者により入力された情報とを含むコンテンツを利用者に提供する。また、提供部43は、利用者により選択された提供者により入力されたテキスト情報、当該提供者により入力された図形、当該提供者の音声、並びに、当該提供者の動画像の少なくともいずれかを含む第2コンテンツを提供する。また、提供部43は、第1コンテンツとして、利用者を示す動画像を提供する。

10

【0104】

これにより、実施形態に係る決済サーバ10は、コンテンツの提供者本人から利用者自身に対するフィードバックを得ることにより、利用者が第1コンテンツを提供する動機付けを行うことができたため、視聴者と提供者とのコミュニケーションを促進することができる。

【0105】

また、実施形態に係る決済サーバ10において、例えば、提供部43は、決済処理部44による処理が実行された場合は、利用者に選択された提供者に第1コンテンツを提供する。

【0106】

これにより、実施形態に係る決済サーバ10は、提供者に対する報酬の不払いが発生する事態を防止することができるため、安全性を担保できる。

20

【0107】

また、実施形態に係る決済サーバ10において、例えば、提供部43は、第2コンテンツの提供に応じて利用者により選択された提供者に支払われる金額に基づく利用者の優先度に基づいて、第1コンテンツを利用者により選択された提供者に提供する。

【0108】

これにより、実施形態に係る決済サーバ10は、所定の料金に加えさらに追加料金を支払うことで、利用者からの人気が高い提供者から優先してフィードバックを得ることを可能とするため、利便性を向上できる。

【0109】

また、実施形態に係る決済サーバ10において、例えば、決済処理部44は、利用者に選択された提供者に関する情報に基づく金額を、第1の口座から第2の口座に移行させる処理を実行する。また、決済処理部44は、利用者に選択された提供者により設定された金額を、第1の口座から第2の口座に移行させる処理を実行する。また、決済処理部44は、第2コンテンツの提供に応じた金額を、第1の口座から所定のプラットフォームの管理者が保有する口座に移行させる処理を実行する。また、決済処理部44は、第2コンテンツの提供に応じた金額を、第1の口座から、利用者が保有する口座であって、利用者が取引に利用できない口座に移行させる処理を実行する。

30

【0110】

これにより、実施形態に係る決済サーバ10は、フィードバックが行われるまでは提供者が保有する口座に料金を移行させないため、何らかのトラブルが発生した際の利用者への返金処理を容易にする。

40

【0111】

〔6. ハードウェア構成〕

また、上述してきた各実施形態に係る決済サーバ10は、例えば、図9に示すような構成のコンピュータ1000によって実現される。以下、決済サーバ10を例に挙げて説明する。図9は、決済サーバの機能を実現するコンピュータの一例を示すハードウェア構成図である。コンピュータ1000は、CPU1100、ROM1200、RAM1300、HDD1400、通信インターフェイス(I/F)1500、入出力インターフェイス(I/F)1600、及びメディアインターフェイス(I/F)1700を有する。

【0112】

50

CPU1100は、ROM1200又はHDD1400に格納されたプログラムに基づいて動作し、各部の制御を行う。ROM1200は、コンピュータ1000の起動時にCPU1100によって実行されるブートプログラムや、コンピュータ1000のハードウェアに依存するプログラム等を格納する。

【0113】

HDD1400は、CPU1100によって実行されるプログラム、及び、かかるプログラムによって使用されるデータ等を記憶する。通信インターフェイス1500は、通信網500（実施形態のネットワークNに対応する）を介して他の機器からデータを受信してCPU1100へ送り、また、通信網500を介してCPU1100が生成したデータを他の機器へ送信する。

【0114】

CPU1100は、入出力インターフェイス1600を介して、ディスプレイやプリンタ等の出力装置、及び、キーボードやマウス等の入力装置を制御する。CPU1100は、入出力インターフェイス1600を介して、入力装置からデータを取得する。また、CPU1100は、入出力インターフェイス1600を介して生成したデータを出力装置へ出力する。

【0115】

メディアインターフェイス1700は、記録媒体1800に格納されたプログラム又はデータを読み取り、RAM1300を介してCPU1100に提供する。CPU1100は、かかるプログラムを、メディアインターフェイス1700を介して記録媒体1800からRAM1300上にロードし、ロードしたプログラムを実行する。記録媒体1800は、例えばDVD（Digital Versatile Disc）、PD（Phase change rewritable Disk）等の光学記録媒体、MO（Magneto-Optical disk）等の光磁気記録媒体、テープ媒体、磁気記録媒体、または半導体メモリ等である。

【0116】

例えば、コンピュータ1000が決済サーバ10として機能する場合、コンピュータ1000のCPU1100は、RAM1300上にロードされたプログラムを実行することにより、制御部40の機能を実現する。また、HDD1400には、決済サーバ10の記憶装置内の各データが格納される。コンピュータ1000のCPU1100は、これらのプログラムを記録媒体1800から読み取って実行するが、他の例として、他の装置から所定の通信網を介してこれらのプログラムを取得してもよい。

【0117】

〔7. その他〕

以上、本願の実施形態のいくつかを図面に基づいて詳細に説明したが、これらは例示であり、発明の開示の欄に記載の態様を始めとして、当業者の知識に基づいて種々の変形、改良を施した他の形態で本発明を実施することが可能である。

【0118】

また、上述した決済サーバ10は、機能によっては外部のプラットフォーム等をAPI（Application Programming Interface）やネットワークコンピューティングなどと呼び出して実現するなど、構成は柔軟に変更できる。

【0119】

また、特許請求の範囲に記載した「部」は、「手段」や「回路」などに読み替えることができる。例えば、受付部は、受付手段や受付回路に読み替えることができる。

【符号の説明】

【0120】

- 10 決済サーバ
- 20 通信部
- 30 記憶部
- 31 口座データベース
- 32 提供者情報データベース

10

20

30

40

50

3 3 利用者情報データベース
4 0 制御部
4 1 配信部
4 2 受付部
4 3 提供部
4 4 決済処理部
1 0 0 利用者端末
2 0 0 提供者端末

【要約】

【課題】視聴者と提供者とのコミュニケーションを促進する。

10

【解決手段】本願に係る提供装置は、所定のプラットフォームにおいてコンテンツを提供する複数の提供者のうち、いずれかの提供者の選択を利用者から受け付ける受付部と、利用者により選択された提供者が提供するコンテンツに対応するコンテンツであって、利用者により投稿されるコンテンツである第1コンテンツを当該提供者に提供する第1提供部と、利用者により選択された提供者により投稿されるコンテンツであって、第1コンテンツに関する内容のコンテンツである第2コンテンツを利用者に提供する第2提供部とを有することを特徴とする。

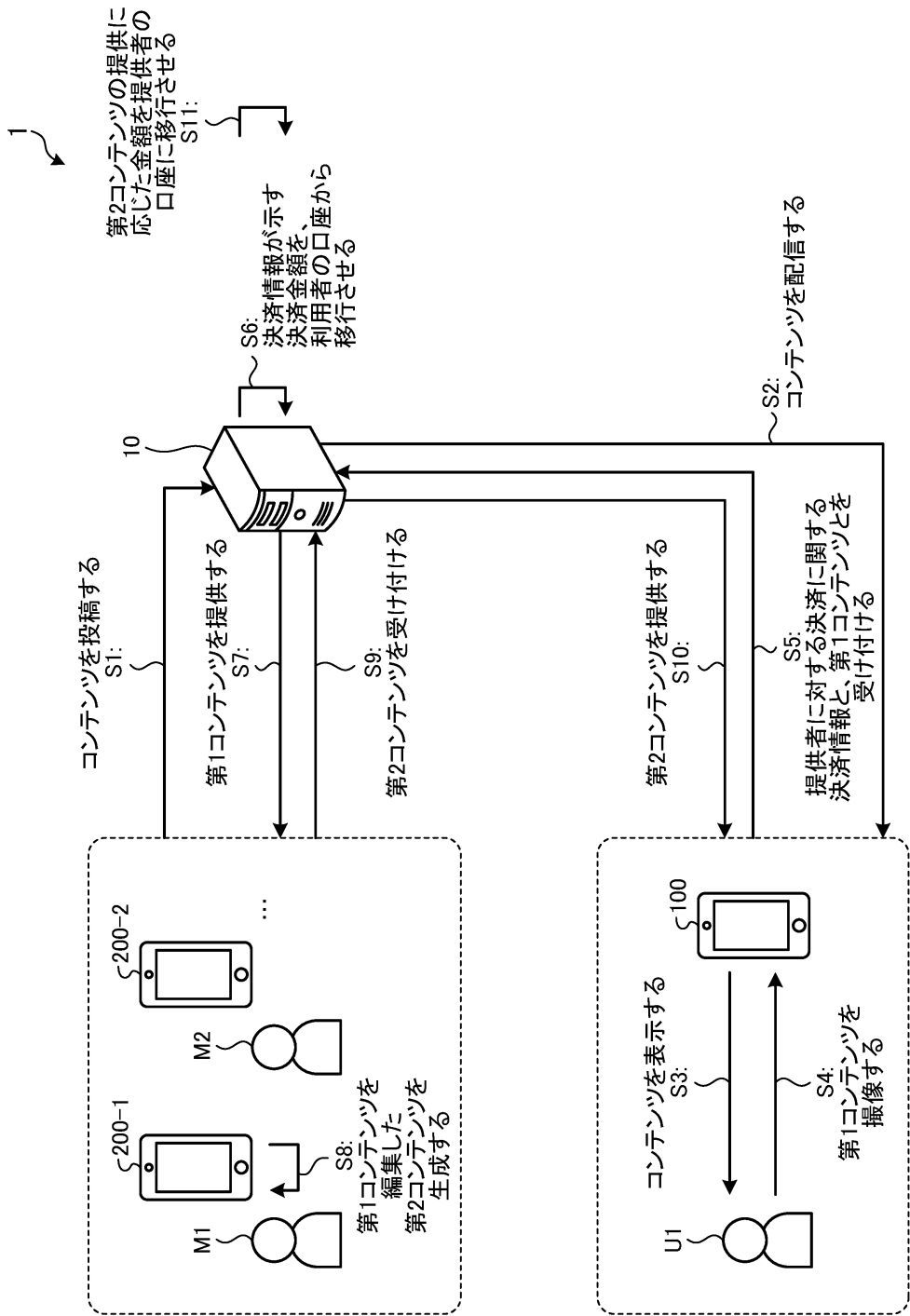
【選択図】図1

20

30

40

50



10

20

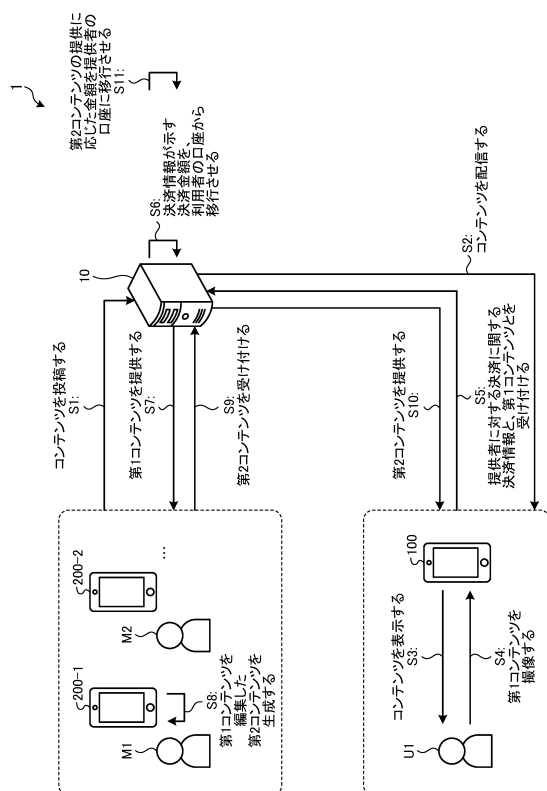
30

40

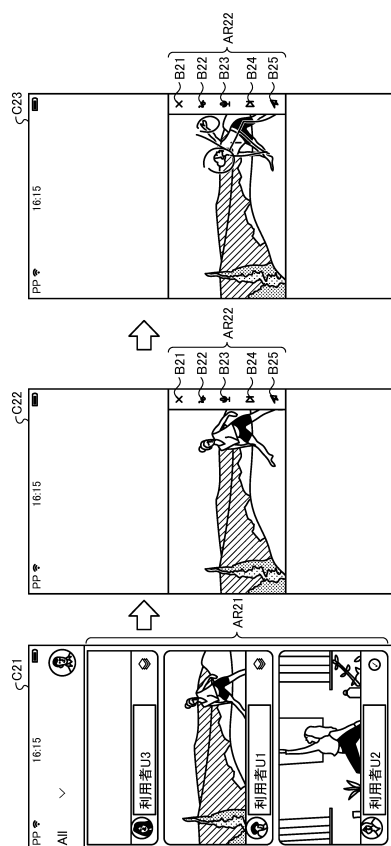
50

【凶面】

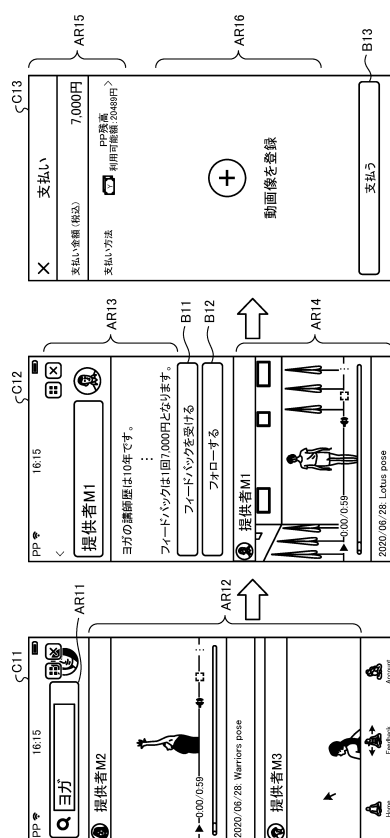
【図 1】



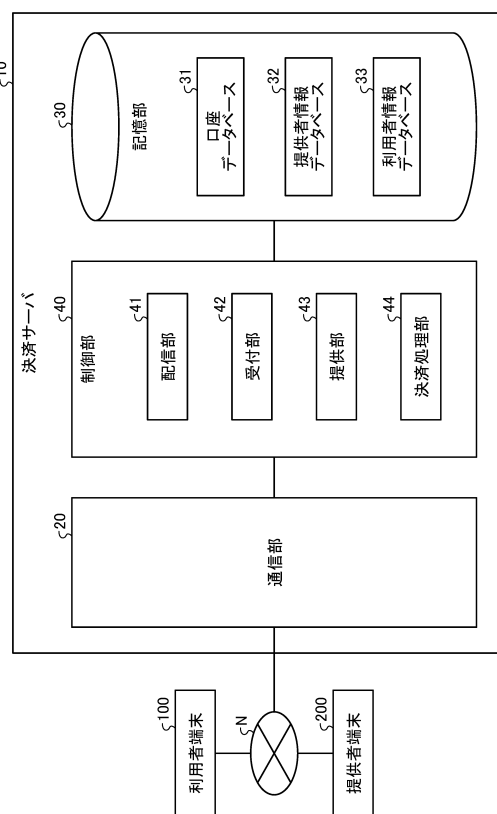
【図 3】



【図 2】



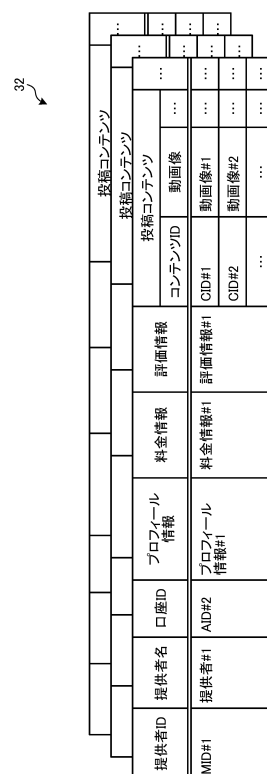
【図 4】



【図 5】

31			
口座ID	保有者情報	口座残高	...
AID#1	利用者#1	7800	...
AID#2	提供者#1	15000	...
AID#3	利用者#2	5200	...
...	...	...	...

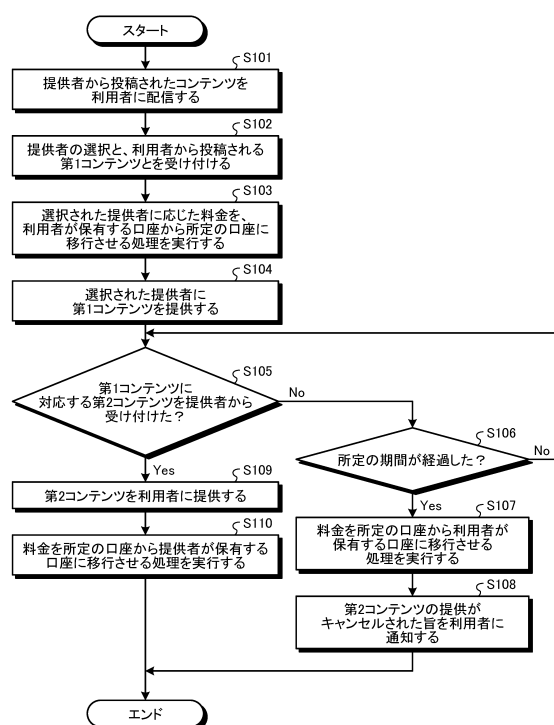
【圖 6】



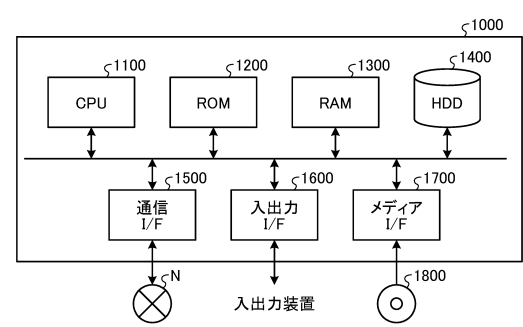
【圖 7】

33			
利用者ID	決済履歴	利用履歴	…
UID#1	決済履歴#1	利用履歴#1	…
UID#2	決済履歴#2	利用履歴#2	…
UID#3	決済履歴#3	利用履歴#3	…
…	…	…	…

【圖 8】



【図 9】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

東京都千代田区紀尾井町1番3号 Pay Pay 株式会社内

審査官 原 忠

(56)参考文献 特開2002-024573 (JP, A)

特開2003-015673 (JP, A)

特開2013-004049 (JP, A)

(58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00 - 99/00